

うつのみやし

教育委員会だより

第2号

平成18年2月15日発行

記事：学校の安全対策・ボランティア活動・不登校の児童生徒への支援

ごあいさつ

宇都宮市教育委員会
委員長 小寺 威夫



平成17年10月から、宇都宮市教育委員会の委員長の重責を担うこととなりました。前任の塚田委員長の後を引き継ぎ、市民から信頼される教育行政を行うことができるよう、透明性のある教育委員会を目指してまいりたいと考えております。

さて、ご承知のとおり、子どもを巻き込んだ犯罪は大きな社会問題となっており、これまで考えられなかった事件が次々に発生しております。

このような中、子どもたちが常に安心して通学することができるよう、保護者はもちろんのこと、市の関連部署をはじめ自治会などの皆様のご協力をいただきながら、登下校の安全対策などを実施しております。

また、昨年策定した「宮っこ未来ビジョン」に基づき、心豊かでたくましく生きることができるよう、学校教育や生涯学習、文化、スポーツなどそれぞれの分野で、具体的な計画を策定しているところであります。

今後とも、夢や希望あふれる宇都宮市となりますよう、さらなる教育行政の充実に努めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

教育委員の活動



総合的な学習の時間視察

日時：平成17年12月21日
内容：旭中学校の発表会

学校の安全対策視察

日時：平成18年1月25日
内容：篠井小学校の集団下校



学校の安全対策について

基本的な考え方

学校や保護者、地域の皆さんなど、多くの人の目で子どもの安全を見守っていくことを基本方針とし、特に登下校時に子どもを一人にさせない対策に取り組んでおります。



具体的な取組

学校・保護者・地域・教育委員会が連携を図り、次のような取組を実施しています。

地域との連携強化

スクールガード・リーダーの派遣

青色防犯パトロールの実施

腕章の配布（各小中学校に 100 枚）

地域との連携強化

- ・ 地域児童生徒育成協議会などの開催による具体的な安全対策の検討と役割分担
- ・ 自治会、老人会などとの連携による防犯パトロール、見守り活動
- ・ 地域の皆さんや関係団体などとの連絡調整
- ・ 地域安全マップの作成と有効な活用 など



スクールガード・リーダーとともに通学路を巡回する地域のボランティアの皆さん

スクールガード・リーダー

の派遣

警察官 OB 6 人を委嘱し、各小学校に派遣しています。

- ・ 保護者や地域のボランティアに対する巡回のポイントや不審者発見時の指導助言
- ・ 教職員を対象にした防犯に関する研修会
- ・ 児童を対象にした防犯教室の開催 など

今後とも学校・保護者・地域の皆さん・各関係団体などとの連携を図り、多くの人的ご支援を得ながら学校の安全対策に取り組んでまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

青色防犯パトロールの実施

学校業務職員が使用する公用車に青色回転灯を装備して下校時に巡回

- ・ 不審・危険な場所のチェック
- ・ 不審者や不審車両を発見した場合に警察に通報

うつのみやの人づくりを考えるパネルディスカッション(結果)

テーマ 心豊かでたくましい人を育てるために わたしたちができること

日時 平成17年11月6日(日) 午後1時30分～午後4時

場所 市役所14階大会議室

1 市長あいさつ

本日のパネルディスカッションをきっかけに、心豊かでたくましい宮っこを育てほしい。

2 基調講演・・・人がもつ心のあたたかさ 【松居一代】

苦難が、生きる力と勇気を与えてくれた。子育てなどを通して、母親の愛の強さを実感した。

3 パネルディスカッション

企業は「学びの場」。経営者などが、社員に社会通念上の常識やマナーを教え、積極的に人づくりにかかわるべき。

また、地域のニーズにこたえて主体的に人づくりを推進。

人づくりの中心は家庭。そのためには、子育てなどを相談するネットワーク作りが重要。PTA活動などの大切さを理解し、積極的に参加してほしい。

地域活動における人とのふれあいや感動場面が不足。地域の人づくりを推進する有能なリーダーの育成が必要。

学校における基礎・基本の定着が必要。また、各団体が、人づくりについての役割分担を明確にし、課題解決の手立ての共有、連携・協力を進めていくことが大切。学校は、人づくりの既存組織の有効活用と教職員の信頼回復に努める。

家庭や地域、企業、学校などが主体的な取組ができるよう、教育委員会として人づくりを啓発していく。

市民の皆さんは、パンフレット()を参考に対話を通して人づくりを推進してほしい。



松居一代 さん



パネルディスカッション

宮っこ未来ビジョンのパンフレットは教育企画課(市役所13階)で配付しています。

出前講座に伺います

市では、昨年9月に市民の皆さんと協働で人づくりを推進するための指針「宮っこ未来ビジョン」を策定しました。そこで、ビジョンの考え方をより多くの市民の皆さんにご理解いただくため、出前講座を開催します。

内容 「ライフステージごと(乳幼児期、少年期、青年期、成人期、高齢期)の人づくり」「各団体(企業、学校、地域)などによる支援」など

対象 自治会・会社・学校などの団体、または任意のグループ

申込 開催希望日のおおむね1カ月前までに電話またはファックス、Eメールで
〒320-8540 市役所教育企画課教育推進グループ Tel 632-2706
Fax 639-7159 Eメール: u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp

その他

- ・申込団体の希望する日程を伺い調整しますが、希望に添えない場合はご了承ください。
- ・派遣費用や資料代は無料です。会場および会場にかかる費用は、申込団体をご用意ください。
- ・要望や苦情・交渉などの場ではありません。趣旨をご理解の上、お申し込みください。

宇都宮市の教育を支えるボランティア活動

宮っ子ふれあいブック

「宇都宮市子ども読書活動推進計画」の一環として、1歳6カ月児健康診査の会場で、読み聞かせと絵本のプレゼントをする「宮っ子ふれあいブック」を行っています。

この「宮っ子ふれあいブック」は、本を介しての親子のふれあいや家庭での読み聞かせのきっかけ作りを目的としており、50人程の本好き、子ども好きの運営ボランティアのご協力により実施しています。

ボランティア活動は原則月1回、保健所、保健センター、平石・城山・姿川・瑞穂野・雀宮の各地区市民センターの会場で活動しています。



会場では、絵本を通して赤ちゃんとおたたかいひとときを過ごして欲しいという願いを込めて、おすすめの本の読み聞かせをしたり、子どもの本に関する相談に答えたりしています。

ボランティア活動の感想として「健診に訪れた親子とのふれあいはとても楽しいもので、自分が元気をもらっている」という声が多く聞かれます。実際に活動の様子を見ると、親子もボランティアも終始笑顔が絶えません。

また、子育て環境や絵本などについて知識を深める研修会、他のボランティアや担当職員とコミュニケーションを深める意見交換会なども行い、活動に生かしています。

ボランティアに参加しませんか

今回紹介する活動以外にも、さまざまな分野の事業が、多くのボランティア活動によって支えられております。

教育委員会の各部署では、次のようなボランティアを募集しております。それぞれの参加条件などをご確認の上、皆様のご参加をお待ちしております。

宮っ子ふれあいブック運営ボランティア...絵本の読み聞かせ、絵本の配付など。

市立図書館 Tel) 636-0231

図書館ボランティア...書架に並んでいる資料の整理整頓など。

市立図書館 Tel) 636-0231 東図書館 Tel) 638-5614

街の先生...小中学校で子どもたちが行う活動のお手伝い(教育活動への支援や安全確保など)

学校教育課 Tel) 632-2733

「ミ・ストリート・ギグ 2006」サポーター...5月27～28日に中心市街地で開催する演奏会の会場整理、司会、音響など。 文化課 Tel) 632-2763

ふれあい文化教室(芸術文化講師派遣事業)

子どもたちの伝統文化に対する興味や関心を深めることを目的に、小中学校において、伝統芸能や、伝統音楽などを体験できる「ふれあい文化教室」を行っています。

この文化教室では、伝統音楽をはじめ、美術、芸能、文芸、茶華道といった、学校からの多様な要望に応じて、文化協会の会員たちがボランティアで小中学校などに出向き、芸の披露だけでなく、解説や指導を行いながら、交流を深めており、今年度は、56校、延べ91回の開催をしております。

和楽器や伝統芸能などに直接触れ、体験できることは、それらに触れる(体験すること)だけでなく、古来より日本人に伝わる「心のありかた」や「美意識」といった、今日忘れがちな、日本の伝統文化の一端を学べるよい機会でもあり、子どもたちの興味や関心は高く好評を得ています。



また、講師の皆さんからは、「子どもたちが真剣に取り組んでいることに感動した。今後も子どもたちとのふれあいを大切に、継続していきたい。」といった意見も聞かれています。

ジャパンカップを支えるボランティア活動

10月22・23日、ジャパンカップサイクルロードレースが宇都宮市で開催され、全国から訪れた観客59,000人が世界のトップ選手の走りに魅了されました。

この大会は、多くのボランティアの皆さんによって支えられています。

会場となる宇都宮市森林公園や周辺道路の美化清掃は、「会場が汚ければ、せっかくきた選手や観客に対して宇都宮市のイメージが台無しになってしまう」と、地元城山・国本地区の皆さんが毎年行っています。

今年は、2トントラック2台分のゴミが集められました。また、コース脇に咲いているコスモスは「大会に花を添えよう」と地元の皆さんが大会当日に合わせて咲くように夏に種をまき、育ててくれているものです。

大会を盛り上げようと、1~2週間前から設置されている約500本の大会のぼり旗も地元の皆さんのボランティア活動によるものです。

一見華やかなイベントですが、このようなボランティアの皆さんの、地味でもとても大切な作業に支えられています。ボランティアの皆さん本当にありがとうございます。



わが学校自慢

横川東小学校

TEL 656-1031

HP <http://www.ueis.ed.jp/school/yokokawa-e/>

歌ったり聴いたりする喜びを実感し、音楽に親しむ心の育成を推進しています。

『ハローミュージック』

本校では、年間8回、朝の活動の時間に、全校児童が体育館に集まり、一緒に歌ったり、演奏を聴き合ったりすることで、音楽に親しむ心を育てています。

音楽クラブの伴奏に合わせ「さあ、はじめよう」の歌でハローミュージックが始まり、各学年の発表においては、歌、合奏、身体表現などをそれぞれが工夫しています。また、このような活動を通して、一つのものをつくりあげる喜びを味わうことができます。

最後は、今年のテーマ曲「世界に一つだけの花」を全校児童で歌います。歌声が体育館に響き、児童は歌う楽しさを実感することができます。

6年生は、このハローミュージックで発表



した合唱曲を、毎年、市の文化会館で行われるジュニア芸術祭学校音楽祭において発表し、たくさんの保護者の皆さんも鑑賞に訪れ、大変好評を得ております。

こうした取組が、本校のよき伝統にもなっています。

海道小学校

TEL 661-6620

HP <http://www.ueis.ed.jp/school/kaido/>

児童の自主的活動を大切にしながら「心豊かな子どもの育成」を図っています。

『海道祭り』

11月に行われる《海道祭り》は、子どもたちが楽しみにしている伝統的な行事です。

これは、5月の田植えから、10月の稲刈りまで行われる「米作り」の成果を発表する場であり、「もちつき」を核とした子どもたちの自主的な活動となっております。



保護者や地域の皆さんも“海道祭りボランティア”として、子どもたちの活動の支援をしてください。

特に「もちつき」は6年生が率先して行い、つき上がったもちは「きなこもち」にしてお昼にみんなで食べます。

また、1～5年生もそれぞれ独自に計画したゲームを自主的に運営し、他学年の子や来校したおとなに楽しんでもらうことによって、自立心や成就感などを養います。

今年度は昨年度に引き続き、「^{あいあい} 藪藪会」の身体障害者療護施設の皆さんも招待し、子どもたちと一緒に楽しんでいただくなど、豊かな情操を養う良い機会にもなっています。

若松原中学校

TEL 655 - 0679

HP <http://www.ueis.ed.jp/school/wakamatuhara-j/>

地域・家庭と連携し、共に心豊かな生徒の育成を図る工夫をしています。

『ボランティア活動や奉仕活動』

本校では、地域・家庭と連携し心豊かな生徒の育成のため、さまざまな活動を推進しています。その一つにボランティア活動や奉仕活動があります。

JRC(青少年赤十字)部によるボランテ



ィア活動では、5月に学区内にある市の文化財の塚山古墳群の除草作業を、地元の塚山古墳群愛護会の皆さんなどの指導の下、半日汗を流しました。さらに、12月には、生徒会地域奉仕作業(全生徒による学区内公園などの清掃)で、1年生代表42人が、市文化課の職員から古墳の成り立ちなどについてのお話を伺った後、塚山古墳群の清掃を行いました。豊かな心の育成とともに、地元の貴重な文化財を大切に守っていこうとする心を育てることができました。

また、8月には、親子奉仕作業を早朝6時から2時間程度行い、校内の清掃・整備に大勢の生徒・保護者・教職員が同じく汗を流し、充実した取組となりました。

宝木中学校

TEL 621 - 3959

HP <http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi-j/>

保護者や教育振興会と連携した伝統行事を推進しています。

『創立記念 断郊競歩大会』

本校では保護者や本校の教育振興会(宝木中学校元PTA)と連携した伝統行事『創立記念断郊競歩大会』を、昭和58年から22年間続けています。

この大会は、全校生徒439人が、宝木中学校から赤川ダム北までの往復約20kmを歩きます(復路はゴミ拾いボランティア活動)。途中、保護者と教員がコースのポイントに立ち、声かけや交通指導を行っています。

生徒は、ゴール地点の赤川ダムに着くと、おにぎりと手作りの雑煮を食べます。この雑煮は、前日、生徒・保護者・教育振興会の皆さんがついたもちを、生徒が歩いている間に大きな釜に入れて作っていただいたものです。

また、おにぎりは教育振興会の方が所有している田を借りて、1年生が農業体験で収穫した米を用いて作っています。

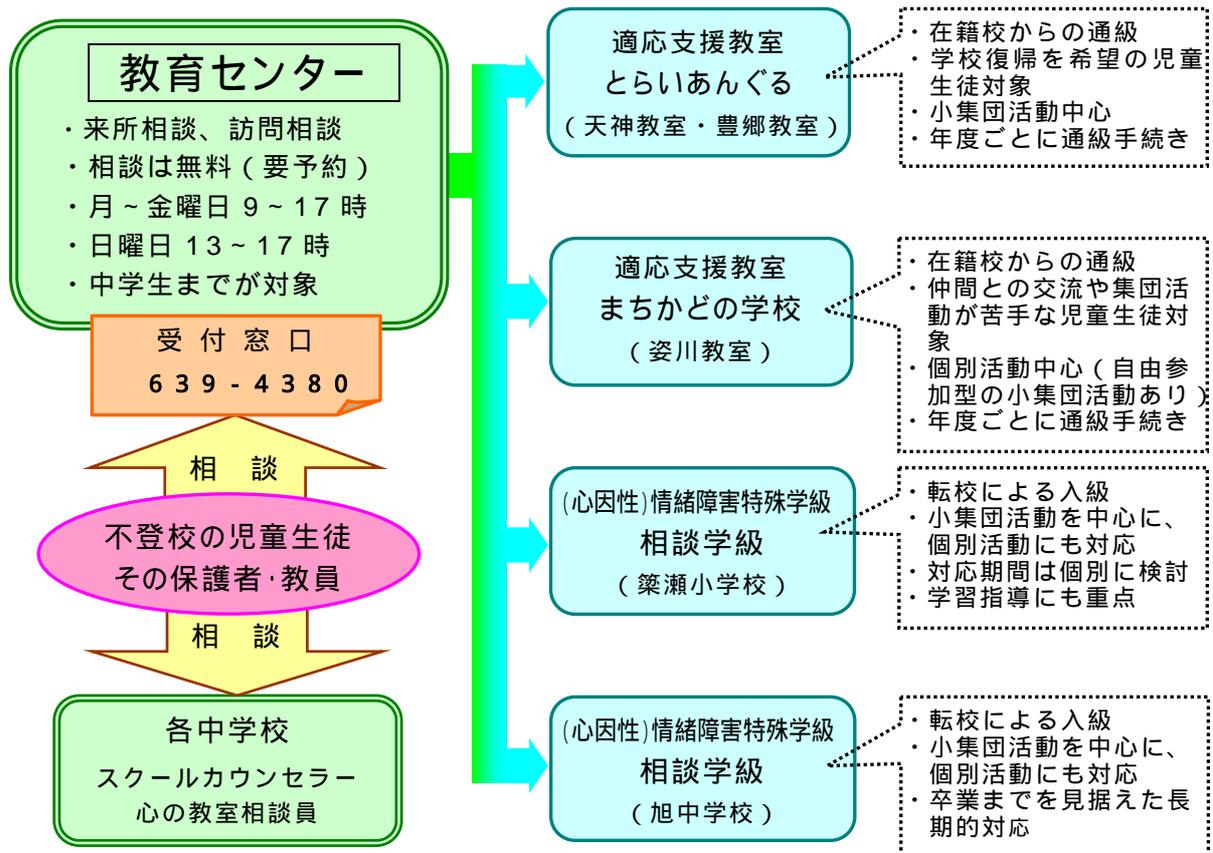
毎年、多くの生徒から、「雑煮、おにぎり、とてもおいしかったです。」との感謝の声も自然に出ています。



不登校の児童生徒を支援します

学校に行けない、行かない状態が続いており、学校外の相談室や専門の教室での支援を受けたい...こんなときは、まず教育センターにご相談ください。

教育センターでは、継続的なカウンセリングや遊戯療法^{ゆうぎりょうほう}などの実施に加えて、一人ひとりの希望や状態に応じて、タイプの異なる教室(適応支援教室・相談学級)を紹介しています。各教室に通うには、教育センターでの相談を行った上で、見学から開始します。



【問い合わせ先】 教育センター 電話 639-4380

児童生徒の状態によっては、途中から他の教室・学級へ移ることも可能です。
教育センター相談室およびまちかどの学校では、家族以外との接触や外出がほとんどない子を対象に、家庭訪問による相談も行っています。

教育委員会だよりに関するご意見ご感想はこちらまで

編集発行：教育委員会教育企画課

〒320-8540

宇都宮市旭1丁目1-5

電話：028-632-2707

FAX：028-639-7159

mail：u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp